

## 第7回パラフットボール研修会（最終回）

日時 11月27日(金) 18時30分～20時30分

参加者9名

内容

【アイスブレイク】全身じゃんけん

【静岡県の知的障がい者サッカー】U23ID静岡県選抜監督 西村 拓 様

【聴覚障がい者サポート研修】静岡県聴覚障害協会 幡鎌 美恵子 様

【アイスブレイク】

○全身じゃんけん、まずは、個人です。頭の中で『じゃんけんぼーず』を考えます。「皆、大人、すぐに準備OK!」、全員起立して、じゃんけんです。代表の声に合わせて、じゃんけん!それぞれに個性のあるポーズで、「それ何?」と確認も。笑顔がたくさん出て、まさしくアイスブレイク成功。

○次に、3人で「ゲー・チョキ・パー」のポーズを考えました。今回は、おしゃべり無しで相談です。

リーダーシップはだれがとるか、「今のはなし」などジェスチャーで相談。

一生懸命目を見て相談しているのが印象的!

【静岡県の知的障がい者サッカー】

○静岡県の知的障がいのサッカーの状況

・チーム数、人数、年代

600人から700の方がサッカーを楽しんでいます。

・大会、支援

大会は、チームの状況に合わせて、3カテゴリーに分けていました。

・選抜の状況

静岡県選抜チームの練習、大会での戦績、日ごろ大事にしているもの

静岡県の選抜メンバー2人が、サッカーや日常生活、仕事のことを語ってくれました。サッカーや仕事で困ったことは、私たちの支援を考えていくうえでとても参考になりました。

【聴覚障がい者サポート研修】

・視覚180度の世界

・見た目ではわからない

▷○、×はきちんと伝える。

▷話をすることをきちんと伝える。軽く肩をたたく、視界に入るなど

▷筆談、空書き、実物の提示など組み合わせて行う。

▷指差し、ジェスチャー、OK、良いは大事。

人の口を読むことの難しさも体験しました。確認が大事なことも学びました。

最後に「はじめまして」、「ありがとうございます」「おはよう」「おつかれさま」「こんにちは」「こんばんは」「さようなら」「元気」などのあいさつとサッカーに使う手話を教えていただきました。

サッカーの関する手話については、覚えて大会等でも生かせるようにしたいと思いました。

【振り返り】

・見目で分からない障がいのアスリートの苦勞に触れることができた。

・「伝えたいという」気持ちが大切だということがわかった。

・静岡県のサッカー熱はすごいと思った。

・コミュニケーションについて、自分たちの日ごろの生活の見直しにもなった。